グランドホール舞台から客席を見る

ひこね市文化プラザ

☎ 26-8601、FAX26-8602　ホームページ http://bunpla.jp/

文化の香り高いまち を目指す

市民の文化芸術活動、生涯学習の拠点

彦根市は、彦根城天守と彦根屏風という2つの国宝をはじめ、数多くのすばらしい文化財に恵まれています。また、江戸期から明治初期にかけては、井伊直弼をはじめ森川許六、日下部鳴鶴などの文化人を輩出しました。これら偉大な先人に倣い、彦根ならではの新しい文化を創造していくことが望まれています。

加えて、生活様式の変化や団塊世代が大量退職する時期を迎えるなど社会状況の大きな変化のもと、文化・芸術に対する関心はより一層高まるとともに、地域・経済の振興や健康・福祉の増進などとの関わりからも、文化振興の必要性は高まっています。

オープンから15周年を迎えるひこね市文化プラザでは、彦根ならではの文化の創造を目指すという開館の理念に立ち返った記念事業を開催します。その事業を紹介するとともに、施設を運営する側、利用する側双方の声を紹介します。

文化プラザの元気がまち全体の元気に

ひこね市文化プラザ
館長代理　筒井　和彦さん

バブル経済期、全国各地で競うように豪華なコンサートホールなどの文化施設が建設されました。

しかし現在では、催し物が減ってしまった会館や、利用が少なく休館に追い込まれたところが多くあります。その中でひこね市文化プラザが元気に開館できるのは、皆さんに広く利用いただいていることが原動力になっているのだと感じます。

2月に開催する「原点回帰～プラザフェスティバル～」では、30を超える芸術文化を愛する団体が一堂に会し、舞台発表や展示を行います。ひこね市文化プラザは、常に発表者や鑑賞者とともにあるのです。

彦根は、古くから交通の要衝であるとともに豊かな穀倉地帯で、江戸時代以降は彦根藩の城下町としてさらに繁栄し、人とものが活発に行き交う交流のまちであり、独自の文化を発信するまちでした。

ひこね市文化プラザは、この歴史都市・彦根の地域特性を生かした事業を展開しています。「戦国・江戸」をテーマとした「歴史手習塾」は、まさに彦根ならではです。今年2月からは、震災を受け、「災害」の怖さを再認識する中、江戸時代に起こった災害について学ぶ講座が始まります。

また、関西では比較的なじみの薄い江戸文化に親しむ催しとして、「金亀亭落語ライブ」の中で江戸落語を定期的に紹介しています。上方落語公演が多い滋賀では珍しく、一味違った取り組みです。伝統芸能では落語だけでなく歌舞伎や文楽などの公演もあります。

さらに新たなチャレンジには、城下町どうしの交流として、一昨年11月に始めたオーケストラ・アンサンブル金沢との文化創造提携があります。音楽を通じて都市間での文化交流を行う試みです。

これからも、常に新鮮な発想で、文化の興隆が彦根全体の繁栄につながるよう、新たな芸術文化の発信に努力していきます。

感動を味わう空間、心の豊かさを実感できる場として、ひこね市文化プラザを広く活用してください。一人でも多くの皆さんにご来場いただくことがひこね市文化プラザの元気の源、何よりのご支援です。どうぞよろしくお願い申し上げます。